

○ 第1部 地域まちづくりについて	
1 ウォーキングマップ作りについて	
【まちづくり委員会の趣旨説明】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 東地区の人口は、昭和30年当時と比較した時、現在約3倍となる15,836人となっている。そのような中、東地区における宝物とも言うべき貴重な資源がたくさんあることを知っている人は、比較的少ないと感じている。 ・ 東地区の再発見という意味においても、各自治会役員等を通じ、地域の資源を探ることとした。地域住民として、是非知っておいてもらいたい観光資源を、さらに意義あるものとなるよう、各地域で探し出し、連携していくことは、大変意義あるものと感じている。 ・ 将来的には、これらの取組によりマップを完成させ、既存の誘導看板等の見直し、又は新規作成を図っていきたいと考えている。 ・ こういった取組を地域として推進していくに当たり、市としての協力、支援の考え方をお聞かせいただきたい。 	まちづくり委員会会長
【市からの状況説明】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 東地区を紹介するウォーキングマップについては、本市で「蓑毛まち歩きマップ」を作成しているほか、秦野市観光協会が発行する「はだのハイキングガイド」において善波峠・高取山・田原ふるさと公園コースを掲載している。 ・ また、環境省が所管する関東ふれあいの道（都圏自然歩道）は、神奈川県コースとして「弘法大師と丹沢へのみち」と「大山詣り蓑毛のみち」で東地区が紹介されている。 ・ 地元蓑毛地区では「てくてくウォークIN蓑毛」を作成し、歴史的な場所をイラストで分かりやすく紹介している。 ・ 看板については、現在、上記のハイキングコース沿いや田原ふるさと公園への案内として案内板などが50数箇所を立てており、また、伊勢原市や厚木市と連携して、大山を核とした観光振興施策において、蓑毛バス停に蓑毛から大山までの「おおやまめぐりルート」を紹介するための案内板を設置するとともに、御師の里、髭僧の滝（ひげそうのたき）などにも案内板を設置している。 ・ さらに、関東ふれあいの道事業では、東地区の歴史と伝統を紹介した案内板を、東公民館前の市道5号線沿いに設置している。また、昨年度まで実施した国の交付金を活用した事業では、新たに「はだの旅～秦野ドライブマップ～」を作成し、東地区においては表丹沢エリアとして、田原ふるさと公園をはじめ、源実朝公御首塚や緑水庵などを掲載するほか、大日堂などを巡る歴史探訪コースなどを紹介している。 ・ 古くなった既存の道標や案内板については、東地区の魅力を分かりやすく紹介し、また来訪された方には安心して楽しめる場所として、次回も訪れたいと思っただけのようなものを目指し、計画的に更新するだけでなく、東地区の魅力を伝えられるものを設置していきたい。 ・ 東地区では、歴史の研究や地域活性化を推進する様々な活動を展開され、本市、観光振興だけでなく、本市の魅力を発信していくための力添えをいただいている。 ・ 本市では、表丹沢の魅力向上を図るための構想を策定しており、ヤビツ峠への拠点施設の整備事業も、多くの登山者や観光客、そして地域の方々が集える施設として、構想に位置づける予定となっている。今後も、地域としっかり連携し、東地区の魅力発信に努めていきたい。 	環境産業部長

【質問・要望・意見等】	
(意見)	名古屋自治会
<ul style="list-style-type: none"> ・ 秦野市引っ越してきて、まだ日が浅いとは思いますが、市全体に観光施設が多くある中で、マップというのを見たことがない。どのような形で発行しているのか。情報発信というものを、どのように考えているのか、そこが一番大切だと思う。観光客が来たときに、市民が説明できないようではいけない。年寄りにも分りやすく、回覧版を活用するなど、多くの人に伝わる方法を検討してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光マップについては、公共施設、秦野駅の観光案内所に配架しているほか、市や観光協会のホームページなどで掲載している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市では、広報はだのや、ホームページ、日刊紙の記者クラブなどへのプレスリリースなどにより、広報広聴課を中心に市内外に情報を発信している。分りやすい広報に心がけていきたい。 	環境産業部長 政策部長
(要望)	寺山自治会
<ul style="list-style-type: none"> ・ 用地買収なども含めて、多くの人が集まれるような場所になるよう、波多野城址をもっときれいに整備して欲しい。 	
2 鳥獣被害対策とジビエの取組について	
【まちづくり委員会の趣旨説明】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 里山のある豊かな自然環境に恵まれた東地区では、今もなお農業が営まれているが、高齢化や後継者不足による担い手不足に追い打ちをかけるように、鳥獣被害が増加し、営農意欲の低下や農地の荒廃化が進んでいる。 ・ 抜本的な解決策を考えていく必要に迫られている中で、鳥獣被害対策の一環で得られる鳥獣の肉の利活用を検討することも必要と考えている。 ・ こうしたジビエへの取組に力を入れていくことについての市の考え方をお聞かせいただきたい。 	まちづくり委員会会長
【猟友会の意見】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ジビエについては、政府は捕獲の意味では環境省、食用の意味では農林水産省が、それぞれ管轄している。国を動かさないとどうにもならない。猟友会でもJAや県からの依頼を受けて、年間300頭近く捕獲しているが、銃器で捕獲したものは食用には使えない。 ・ 伊勢原でも柏木牧場が取り組んでいるが、採算が取れていない。政府が屠殺場を作ってくれば、取組も相当進むかもしれない。秦野の伊勢原の動物霊園で焼却している。県ではワイドレンジャーというものを組織して、標高800m以上のところで活動している。山の中で捕獲したときは、深いところの地中に埋めているが、里山に近いと運搬しなければならないという課題がある。その意味でジビエの活用と言うのは非常に難しいと考えている。 ・ ジビエに一番活発に取り組んでいるのが北海道。加工して缶詰まで生産している。 	猟友会会長

<p>【市からの状況説明】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市では、鳥獣被害対策を①防護柵や電気柵の設置による「防除」、②藪払いや荒廃地を解消する「環境整備」③わなや銃器を使用した有害鳥獣の「捕獲」といった3つの対策を柱として効果的に進めている。中でも、わなや銃器を使用して、捕獲個体数を増やしていくことは、農業被害の軽減に直接繋がるため、取組を強化していく必要がある。 ・ 市では、これまで農家や生産組合の方にとって負担となっていた、「わな」による捕獲後の埋設処理に的確に対応していくため、本年6月から、猟友会の会員の方を主な隊員とする「秦野市鳥獣被害対策実施隊」を組織した。「環境整備」や「防除」に加え、「わな」による捕獲や銃器駆除を効果的に実施することで、今年度はシカ・イノシシの捕獲数を29年度実績の1.5倍（235頭）にすることを目標にしている。捕獲個体数が増えることで、農業被害の軽減に繋がり、営農意欲の向上はもとより、東地区の農業活性化に繋がっていくものと考えている。 ・ また、鳥獣の捕獲個体数が増加すれば、その副産物として、捕獲個体の利活用の議論も深まることとなり、今回、まちづくり委員会から提案のあったジビエ利用についても、活性化策の一つになりうると認識している。 ・ しかし、捕獲した鳥獣を「ジビエ」として利用していくには、何より、市民や飲食業でのニーズをしっかりと把握する必要がある。また、ジビエでの利用には、食肉利用により適した「くくりわな」による捕獲を進め、「捕獲から2時間以内に処理加工施設へ搬入する」必要もある。さらに、捕獲した個体を適切に加工する「食肉処理加工施設」の設置や運営を行う事業主体の決定など、課題も多くあるため、引き続き研究していきたい。 	<p>環境産業部長</p>
	<p>【質問・要望・意見等】</p>	<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近所の畑に、ほぼ毎日イノシシが出る。春になるとタケノコを掘るし、ミミズや沢ガニを狙って畦畔に穴を掘ることもある。イノシシの場合、電気柵を設置しても、鼻先は感じるもののお尻は感じないので、後ろ向きで畑に入ってくるから意味がない。ラジオを流したり、ひもに缶を付けたりとすると、音を嫌がるので効果がある。今のところ人的被害が発生していないからいいが、一人でも出たら大変なこと。対策は待ったなしの状況である。早急な対策をお願いしたい。
<p>3 市道の改善について</p>		
<p>(1) 市道5号線の横断歩道の設置について</p>		
<p>【まちづくり委員会の趣旨説明】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ まずは、市道5号線について、小石が飛び出していたり、通学路で使っている観点で歩道の整備をお願いしていたが、ここで1.8kmの歩道整備がされたことにお礼を申し上げたい。 ・ 今回は要望事項として説明をさせていただく。市道5号線は歩道が片側しかないので、でんぷん工場跡地の前は横断歩道が必要と思う。是非検討していただきたい。 	<p>東田原連合自治会長</p>

【市からの状況説明】	<ul style="list-style-type: none"> 本件は、これまでも要望をいただいていた場所であり、既に秦野警察署に検討を依頼している。設置の可否は、基準に基づき、現地調査や審査等県警本部及び公安委員会の判断によるので、もうしばらくお時間をいただきたい。回答を受けたら、早急にお伝えする。 	くらし安心 部長
(2) 市道61号線の安全対策について		
【まちづくり委員会の趣旨説明】	<ul style="list-style-type: none"> この場所は、通勤時間帯となる6時から8時までの間、抜け道となっていて非常に混雑する。どちらかが徐行するか一旦停止しないとすれ違いができないような道路となっている。さらに蛇行していることで見通しも悪い。 8月13日に市にも来てもらって状況を確認していただいた。まずは注意の看板をお願いしたところ、早速作ってもらえることになった。 できるだけ見通しの良い道路にしてもらいたい。 	名古屋連合 自治会副会 長
【市からの状況説明】	<ul style="list-style-type: none"> 児童等の通学時間に現地を確認したところ、ガードレールが設置されていることで安全が確保されていると考えている。 道路が蛇行している部分では、名古屋側から登る車両と、蓑毛側から下る車両が交差する幅員が狭い部分が一部あるものの、カーブミラーで互いの車両を確認し、徐行しながらすれ違って通行していた。 道路を拡幅することで走りやすくなる反面、スピードを落とさずに走行する車両が増加する弊害も考えられる。 秦野警察に接触事故等の状況を確認し、今後に向けた検討を行いたい。 整備を進めるためには、計画的に考えていかないといけない。東地区で行っている市道58号線（矢ヶ瀧橋関連）、市道西田原51号線（谷戸）、市道名古屋木12号線（ニトリ裏）、市道60号線（久保田養鶏付近）の4路線の道路拡幅事業が終了した後、次の候補路線として検討する。 	建設部長
【質問・要望・意見等】		
(意見) <ul style="list-style-type: none"> 以前地元から30kmの速度制限をしたらどうかという働きかけをすることで、調整しているところである。 		名古屋自治 会
(要望) <ul style="list-style-type: none"> 速度制限の具体的な速度は公安委員会の所管となるため、連携して対応する。 		名古屋自治 会

(要望)	<ul style="list-style-type: none"> ガードレールがあるからといって安全ではない。現場を見れば、人が歩くところとして危険を感じる。ゆっくり走れば後ろからあおられる。例えば、道路に鋸のようなものを打って、車の走行時にガタガタと走りにくくするとか、子供たちにとっては大変な問題であるから、明日にでもすぐに対策をするべきである。 	名古屋自治会
(要望)	<ul style="list-style-type: none"> この路線は全体にわたって大変危険。平成29年度の市政懇談会でも要望している。市の担当者には現場も確認してもらっているが、なかなか進まない。玉伝寺入口の三叉路も危険。もっと対策をお願いしたい。 	名古屋自治会
(3) 東田原60号線(東田原神社の側道)の急傾斜地について		
【まちづくり委員会の趣旨説明】		
・	防災・減災の観点からお願いしたい事項である。現場は、東田原神社の脇の道で、急傾斜地というよりもオーバーハングしているような場所となっている。	東田原連合自治会長
・	事前に相談しているが、民地であるので市としては対応が難しいので、自治会としての対応ができないかということとなり、地主と相談したところ、木については何とか対応したいと回答していただいた。	
・	一つ安心するところであるものの、伐採したとしても根が残り、オーバーハングしているような場所であることを考えると、台風が来たときに非常に危険な状況であることには変わりはない。	
・	この場所を擁壁で対応するとしたら、100万円を超えるような費用がかかるとなると、とても対応することができない。民地でありながら、こういった危険な箇所があった場合、行政としてどういう対応が取れるのか、お聞かせいただきたい。	
・	東田原神社の氏子会を中心に、周辺の老木などの伐採、枝打ちなど自主的に進めた。伐根とまではいかなかったのですが、道路に落ちてきて通行止めになった。これの除去を頼んだところ、氏子会から出たものなので、自主的に対応してくれと言われた。そのときは迂回路があったので、大きなトラブルはなかったものの、一つ間違えば大変なことになる。	
・	今回の件は、伐採したからといって解決するものではないと思っている。こういった場合の対応について市の考え方を教えて欲しい。	
【市からの状況説明】		
・	今回の問題について、木を伐採しても課題が残るということは認識している。大雨などの際のパトロールに加えて、通常の道路パトロールでも確認を強化していく。地元の方におかれましては、変わったことがあればすぐに御連絡いただきたく、御協力をお願いします。	建設部長
・	先日の台風15号では倒木が多く発生した。民地は所有者にしっかりとやっていただく必要がある。所有者に対する周知も含めて、できることがあれば手伝いたい。	

	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県が急傾斜地対策を行っており、自然法面で30度以上の傾斜、5m以上の長さ、崩れることで5戸以上に影響が出る恐れがあることといった要件がある。民有地だと負担が大きいので県が急傾斜地として指定して工事を行うという制度となっている。県に伝えるので、あらためて確認などが必要になった場合、協力をお願いしたい。 （後日回答：現場を精査し、神奈川県と協議したところ、県の急傾斜地対策の事業には該当しないため、まずは大木の伐採を進めていただくことをお伝えした） 	<p>くらし安心 部長</p>
<p>【質問・要望・意見等】</p>		
	<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会としても、会員にきちんと伝えないといけない。市として動いてもらって結論を出してもらえるのか、それとも自治会としてやらないといけないのか。何かあってからでは遅い。 	<p>名古屋自治会</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 今回の件は、私が直接平塚土木事務所に伝え、あらためて御連絡させていただく。 	<p>くらし安心 部長</p>
<p>○ 第2部 市政全般について</p>		
	<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水田のために金目川の水を取水している。例年水が少ないと大変なことになる。是非取水堰を作ってもらいたいが、なかなか県から良い返事をもらえない。「こういうものなら作ることができる」といったものをきいてもらいたい。防災用水もかねているので何とか良い返事をいただきたい。 東電の変電所からの付け替え道路について、法面の雑草を以前と比べて処理してもらえない。桜があり、側溝に葉っぱが落ちて溜まってしまふ。先日の台風のような雨が降ると、側溝があふれてしまう。この側溝の清掃をきちんとやってもらいたい。 	<p>八幡自治会</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 取水の堰件については、県への要望として8月に提出している。今回の要望をきっかけにして、県からの前向きな返事を引き出せるよう働きかけていきたい。また、道路側溝の管理についても適切に行っていきたい。 	<p>建設部長</p>
	<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街化調整区域が変わらないままとなっている。農家にしたら売することもできず、鳥獣被害の中、引継ぎもできない。農業は秦野に欠かせないものと思う。対策をしていただきたい。 保安林となっている私有地がある。木は自然に大きくなり、所有者としても、県の許可がないと勝手に伐採もできず困っている。こういった問題についても対策をしていただかないといけない。 	<p>名古屋自治会</p>

<ul style="list-style-type: none"> 市街化を促進する地域と、抑制する地域と分けしたのが昭和40年代。土地利用として規制されるべき区域は当然あり、そうしたものを全て踏まえて秦野の魅力と思っている。今、表丹沢の魅力づくりということで新東名の開通に合わせて全体的に取り組んで行こうと考えており、例えば体験農業であるとか森林浴であるとか、自然的な土地利用をベースにしながら、魅力づくりをしていきたいと考えている。市街化調整区域での土地の売買は難しいながらも、最低限の売買はできる。一方では鳥獣被害も切実な問題だが、なかなかすぐには効果が出ない。できることからしっかりと取り組んでいきたい。 	<p>市長</p>
<p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道246号の八沢入口交差点付近で行われている工事について教えて欲しい。また、こういった情報を広報で詳しく伝えて欲しい。 	<p>名古屋自治会</p>
<ul style="list-style-type: none"> 新東名高速道路のインターチェンジに接続する道路の工事が行われている。将来的には246バイパスにも接続される部分で、交通の結束点となる。道路の整備箇所も決まっていて、これから測量などを行っていく予定となっている。市内の区間のうち、南矢名の一部区間においては用地買収が始まっている。計画図など公表はされているが、それに加えて広報などを通じて随時丁寧にお知らせしていきたい。 	<p>建設部長</p>
<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> 寺山のスポーツ広場のフェンスが台風で破損してしまったので、早急に修理をお願いしたい。また、入口の右側に鉄骨のポールのようなものが置かれ、危険だと思うので、対処してもらいたい。 <p>(対応) 置かれていた支柱は撤去済み。フェンスの改修については、当年度中に実施する予定</p>	<p>寺山自治会</p>